

多くの課題を抱える「お一人様」 求められるサービスや支援の充実

日本介護事業連合会（日介連）は今年2月、身寄りの無い一人暮らしの高齢者に入居施設や身元保証会社を紹介し、公正証書作成のサポート等をする「お一人さま委員会」を設立し、支援をスタートした。当勉強会は、単身高齢者が直面する課題や必要な支援を考える為、日介連と合同で分科会を開催。厚生労働省の和田幸典・認知症施策・地域介護推進課長と、東京公証人协会会长で廻町公証役場公証人の齊木敏文氏、お一人さま委員会の大西統・相談員、信夫武人・相談員に現状や課題、支援策を語って頂いた。



写真左から：大西統、信夫武人、齊木敏文、和田幸典、原田義昭、三ツ林裕巳、愛知治郎、尾尻佳津典

挨拶



愛知 治郎氏 一般社団法人日本介護事業連合会 理事

日介連会長の愛知和男のメッセージを代読致します。高齢者の介護は、介護従事者の不足等による生産人口世代への圧迫が懸念され、日本経済にも影響を及ぼす重大な課題です。介護が延命や看取りに留まる事無く、高齢者が幸せを感じられる社会の構築に繋がる様取り組んで参ります。



原田 義昭氏 「日本の医療の未来を考える会」最高顧問（元環境大臣、弁護士）

高齢社会が進む中、取り上げられる事が多くなった「お一人様」の問題は、個人の力や医療、福祉だけで解決出来る単純なものではありません。法律面からの課題解決も重要です。今回はこの問題を真正面から取り上げ、将来に向けて必要な対策を考えて行きたいと思えます。



三ツ林 裕巳氏 「日本の医療の未来を考える会」国会議員団代表（衆議院議員、元内閣府副大臣）

高齢社会の課題について、私も自民党内の調査会に参加して議論を進めています。単身高齢者の生活環境を改善し、不安の無い老後を送る為に何が必要なのか、様々なステークホルダーの意見や現場の声を聞きながら検討を進め、政策への反映や法制化に取り組む事が必要です。



尾尻 佳津典 「日本の医療の未来を考える会」代表（『集中』発行人）

最近、テレビやラジオ、新聞等によく「お一人様」という言葉を聞く様になりました。身寄りの無い一人暮らしで暮らして行ける様課題解決に取
達は日本介護事業連合
会と共にお一人様
詳しくはホームページをご覧ください

続きを読むには購読が必要です

